

第 93 号



人と人

発行

東村山市国際友好協会

編集：広報委員会

東村山市本町 1 - 2 - 3

東村山市役所内

☎ 393-5111 内線2558

http://www.h-ifa.com/

イ市との国際交流、未来について

副会長 佐藤 公子



グローバル化が進み、人々の国境を越えた活動が増えるにつれ、国際交流を取り巻く環境に大きな変化が起きています。最近では外国人と触れ合う機会も多くなると共に、インターネットや衛星放送で世界の動きを即時に知る事が出来、個人レベルでも国際化が大きく進んでいます。こうした状況のなか、当国際友好協会は今後、社会の中でどのような役割を果たすことができるのか、イ市との交流を基軸に私なりの考えを記してみたい。

イ市の若者の中には当市での生活体験が動機になり、大学卒業後は東村山に住み、学校で英語教師として働きたいとの希望を持つ人もいます。外国語指導助手（ALT）として市内の中学校や小学校での英語活動の補助、当協会の英会話講師など、優先的に雇用する制度、或いは専門職の相互技術研修や実習などの受け入れ活動は、両市の地域振興、活性化を導く要因の一つに成り得るのではないのでしょうか。

1978年、姉妹都市提携後、「人と人」の理念の下、毎年の学生派遣、イ市学生の受け入れ、5年毎の市民相互訪問を重ね、お互いの文化や伝統を知り、相互理解を深めながら、両市は友情、信頼関係の固い絆を築き上げてきました。今や3世代に跨る家族ぐるみの交流も生まれています。さらに輪を広げお互いのまちづくり、人づくりにも寄与出来る交流を推進していかれたらと、夢は広がります。行政や地域の企業、組織、団体など全体で連携、協働し、その総合力で地域の持続的発展に繋がる役割を担える国際交流の展開。人的資源を豊かにする教育投資、研究開発投資のための知恵を出し合えるような、パートナーシ

こうした観点から、諸先輩の方々から受け継いだ歴史ある伝統、協会の基本理念を培いつつ、更なる国際交流への推進を心から願います。

会員拡充委員会活動

本年も会費を頂きに広報紙を

有難うございました (会費納入御礼)

当協会には下記のように多数の賛助会員さんがおられ、協会運営に多大の貢献を頂いています

また、ご協力願っている会員の皆さんからも会費納入して頂き、有難うございました。

(敬称略・順不同)

東京東村山ロータリークラブ、(社)東村山市医師会、(社)東村山市歯科医師会、東村山市薬剤師会、東村山青年会議所、同シニアクラブ、(株)長坂式典センター、あさひや製麺(株)、東村山ファーマシー、JA 東京みらい東村山支店、エネックス(株)、青葉調剤薬局、けやき調剤薬局、(株)いなげや東村山秋津店、(株)サニーカルチャープラザ (TSUTAYA 東村山店)、(株)あおき印刷、山崎製パン(株)第二東村山工場、武蔵野労務管理事務所、東光建設(株)、(有)一翠、(株)ふいっしゅいんてりあ、(株)千代田防災、(株)いなげや市役所前店
熊木令次、細渕一男、澤田泉、川合萬次郎、角田孝司、斉藤松志、鈴木新吉、増田勝義、當間洋吉、志村治男、丸山キミ、川島玉三、小町佐亨、桜井喜吉、石黒文夫、大野茂、木下孝男、川合みどり、木島安明、當間義夫

(会員拡充委員会)

市民産業まつり

今年で、49回目となる市民産業まつりが11月13、14日の二日間に行われ開催されました。晴天に恵まれ、当協会が出店した



英会話講座二コース

今回のイベントで市民の皆さんに当協会のアピールを出来た事や会員交流の場が持てた事は有意義な二日間でした。これからも当協会がより良く発展していくことを願います。

秋晴れの10月5日(火) 96名の受講を迎え後期講座開講式を行いました。

英会話教室が多数ある中、当協会の講座を選んで頂き嬉しく思います。学び始めた当初に比べ堂々と大きな声でスピーチする姿に「継続は力なり」を感じる今日この頃です。

平成23年度イ市親善訪問派遣団長及び派遣団員募集

姉妹都市インディペンデンス市を訪問する派遣団長及び派遣団員を募集します。アメリカで実際にホームステイ生活を体験して友好の輪を広げてみませんか。

日程：平成23年 7月27日(水) 出発
～ 8月11日(木) 帰国 (2週間)
対象：派遣団長 1名 (60歳以下)
派遣団員10名 (中学3年～22歳)
応募期間：平成23年 2月1日(火)～3月14日(月)
*募集要項は2月1日(火)から市役所(市民部生活文化課)にて配布します。
*派遣の前に選考・事前説明会・数回の研修会が行われます。(派遣委員会)

平成23年度ホストファミリーとサポーター募集

2011年 7月13日(水)～27日(水)にインディペンデンス市から学生と引率者が来市します。訪問学生のお世話をしてくださるホストファミリー(学生に一部屋提供でき、ご家族のどなたかが歓迎行事に参加できるご家庭)とホストをサポートするサポーターを募集します。
明年3月に募集のための説明会を開催する予定です。(学生受入委員会)

問い合わせ：市役所(市民部生活文化課) 042(393)5111

計 報

9月15日(水) 前期講座修了式が行われ受講者96名中修了者89名うち皆出席者は14名でした。皆さんが職場、学校、家庭から熱心に通われています。

只今、2011年度前期講座(四月開講)使用のテキストブック検討中ですのでご期待下さい。

(英会話委員会)

お知らせ

マリンバ北星会主催、国際友好協会、日中友好協会、地球市民クラブ後援による歳末コンサートが開催されます。
12月11日(土) 午後1時より 富士見公民館 入場料 無料

(広報委員会)

花みずき コーナー

【二人の不思議な縁(えにし)】

市川一男氏とロン・スチュワート氏の訃報に接して、ラーナ・ホワイトさんがお二人の不思議な縁を話してくださいました。

『二人の出会い』は1994年5月、市川市長が東村山市の市政30周年記念祝賀会に招待したことからはじまりました。

警察署長を務めていたスチュワート氏がイ市の新市長に就任した矢先の招待でした。来日を決意し親日家になってくださるかどろかはホワイトさんを初めイ市姉妹都市委員会関係者の大きな心配事でした。

しかし、同氏は東村山市滞在中の歓待とホスピタリティに深い感銘を受け、大の親日家となりました。そしてお二人は公私にわたる十数年の付き合いを通して親交を深めていったのです。その親友同士が同時期に天国に行かれるとは、まさに不思議な縁としか言いようがありません。』

両市のために多大な貢献をしてくださったお二人のご冥福をお祈りいたします。

学生派遣にとって、今年は改革1回目でした。今までの3週間から2週間へ短縮。伊市からの学生の来日日程をずらし、日本の学生の渡米と、彼らの帰国フライトを同じ便にしてくださったこと。この大きな改革は、日米両市がこの事業を行う上で、大変有効なものになったと思います。私にとっても勤務している2中の姉妹校であるパイオニアリッジ中学との交流を深める上で、大変意義のあるものとなりました。両市のこの素晴らしい交流が末永く続くことを願ってやみません。(引率 谷口 弘美)

山口 桜花 短期間で大切なものがたくさんできました。ひとつひとつの出来事を鮮明に思い出せます。国境を越えた友達とはメールでのやりとりもよくします。

鎌形 采可 うらやましいと思ったのは、14才で車に乗れること、私にとって伊市はもう1つの故郷だし、トンプソンファミリーは私のもう1つの家です。



成田空港出国ロビーでいざ出陣

酒井 美菜 英語でコミュニケーションが本当に取れるのかどうかという事も、文章に出来なくても単語を並べたりジェスチャーを使えばほとんど使える事が出来た。

梅原 梨々子 車の中から見た壮大に広がる平野にオレンジ色に輝いていた朝日を今でも鮮明に覚えています。まるでアメリカの人の心の広さと暖かさを見るようでした。



St. Mary大学にて

派遣生・伊市ホストファミリー

2010年 第28回学生派遣団 (H.22) ◎：引率者

◎ 谷口 弘美	Joe Gall
酒井 美菜	Jeff Snethen
鎌形 采可	Lawrence Thompson
金子 颯人	Dale Trotter
高橋 雅美	Dan Jeffries
森山 真平	John Seeley
山口 桜花	Alicia Caudillo
梅原 梨々子	Gary Moxley
久保田 歩	Margaret Longstreet

金子 颯人 僕がこの派遣中に一番楽しかったスケジュールは遊園地です。派遣生の皆と一緒に廻ったアトラクションは普通にめぐるより何倍も楽しかったです。

久保田 歩 アメリカは、すべてが大きくて本当に驚きました。消防署では日本で体験できない事ができて私にとって一番印象に残りました。



現地新聞に載った学生たち



ハワイアン・パーティーで歌を披露

伊市滞在スケジュール

7月27日 出発、到着
7月28日 インディペンデンス市内観光
バーベキューパーティー
7月29日 市役所訪問、トレイルセンター見学
7月30日 小学校、中学校訪問、野球観戦
7月31日、8月1日 ファミリーデー
8月2日 大学見学
8月3日 動物園
8月4日 遊園地
8月5日 乗馬体験、市長晩さん会
8月6日 植物園、湖でボート遊び
ティーンパーティー
8月7日、8日 ファミリーデー
8月9日 ハワイアンパーティー
8月10日 帰国

言葉よりも 心が先に通じ合う

ホストファミリーを引き受けての感想

滞在：2010年7月13日～7月27日

森山 真平 このプログラムが楽しかったので、すぐに弟に勧めた。ファミリーデーに「お笑い」のライブへ行った。少ししか理解できなかったが、わかるころは大いに笑った。

高橋 雅美 ホースランディングはとても広い所で、いくつかの指示の仕方を教えてもらっただけで、馬に乗った。落ちそうになった時もあったが、楽しむことができた。

私は過去何年もの間言われ続けている「あの言葉」を何度も耳にしてきました。それは「この訪問が一生で一度の経験である」という言葉です。私はこれが一生で一度きりの経験ではなく、一生の友情の始まりであって、言い換えれば一生の友情が続いていくことを望んでいます。

この経験は私たちの人生の中で、大好きな思い出として残ることでしょう。皆様の絶え間ない笑顔と友情に対する感謝の気持ちを表わす言葉は、どの言語にも存在しません。私が最大限に言えることは「どうもありがとうございます」の一言だけです。
市長主催ランチより抜粋
(団長 エミリー・コリンズ)

・ 度々ホストをしているので余裕をもてた。同世代の子供がいるとゲストもより楽しめるようだ。
・ 子供が増えたような気持ちで接した。子供の英語の授業への参加を学校より断られ残念だった。

・ 子供どうし言葉はわからなくても練り消しゴム遊びを通し、打ち解けることを実感した。
・ いろいろな地域でのお祭りを経験させてあげることができた。
・ 英語が不得手でも、輪のなかに入って行けることがわかった。今後は積極的に行動したい。
・ サポーター制度はよかった。



日光龍頭の滝

- ・ 今回良い機会を与えてもらいました。子供が大きくなったらぜひ再びホストを引き受けたいです。
- ・ ショッピングが大好きで、日本のことを学ぶ気持ちは強くないようでした。
- ・ 学生たちが勝手に約束し、サポーターさんの予定をキャンセルするなど迷惑をかけてしまった。
- ・ 買い物で現金がなく不便にしていた。両替やクレジットカードの使い方など、事前に教えてあげた方がよい。
- ・ 浅草を楽しんでいた。何でも食べ、何にでも挑戦してくれた。

「新たな試み」

姉妹都市提携30周年を契機に伊市姉妹都市委員会と当協会が協議を重ね、いくつかの合意に至りました。第一に両市でのホームステイの滞在期間を3週間から2週間に短縮する。第二に滞在時期を6月から7月に移行することです。今回初めて実施したわけですが、結果としては



日本文化体験(弓道に挑戦)



交流会でのスイカ割り

今回は伊市と東村山市の学生による国際交流を中心に掲載しました。また今号は市内新聞販売店様のご協力を頂き全戸配布ができました。

編集後記

喜んでいたかと思いきや、時期が夏休みに入ったことで当市の派遣生たちが、伊市からの訪問学生のための様々な行事に参加することができました。更に伊市でも共に行動することで4週間の交流が実現し、お互いをより知ることができました。また、今回初めて取り入れた「サポーター制度」も好評でした。この制度はホストファミリーが送迎できない時や共働きのホストの方の平日のフリータイムに、ホストに代わって訪問学生のお世話をしていたく制度です。今回は23人の方が登録してくださいました。来年度以降もこの制度をさらに充実させ、より良いものにしていきたいと考えています。(学生受入委員会)



市内めぐり(ふるさと歴史館)

ホストファミリー

定方 利勝 (久米川町)	大浦 洋永 (野口町)
櫻井 康博 (栄町)	津留 信二 (恩多町)
高島 吉昭 (秋津町)	三浦 大輔 (萩山町)
伊藤 克夫 (廻田町)	大野 茂 (栄町)
椿 和順 (恩多町)	當摩 照夫 (多摩湖町)
古川 洋之 (恩多町)	小山 邦昭 (野口町)